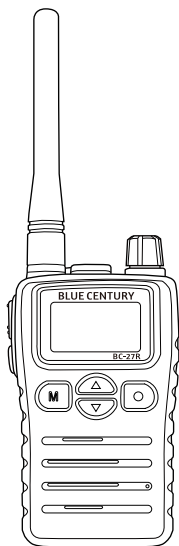


特定小電カトランシーバー

# BC-27R

取扱説明書



この度は[ BC-27R ] をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
お読みになったあとは、大切に保存してください。

故障かな？と思ったら、まずリセットを行ってください（36 ページ参照）。また、ハンズフリー機能（VOX 機能）がオフになっていることをご確認ください。

このトランシーバーは日本国内専用機器です。海外ではご使用できません。

**株式会社 コンパス**

# 目次




安全上のご注意	3
安全についてのお願い・ご注意	5
通信チャンネルについて	7
中継チャンネル周波数表	8
BC-27R の便利な機能 / 同梱品の確認	9
ご使用前の準備	10
電池の入れ方	10
ヘルムクリップ / ストラップ / イヤホンマイクの取付け方	12
各部の名称	13
通話をする	14
電源を入れてチャンネルを選択する	14
送信	14
受信	14
電源を切る	15
待受け	15
グループモード設定	16
秘話設定	16
応用編	17
キーロック	17
スキャン	17
モニター	18
中継器を利用して通信を行う	19
拡張メニューモード	20
拡張メニューの詳細	21
呼出音	21
VOX 感度調整	22
VOX 保持時間	23
PTT ホールド	24
トークビープ	25
送信許可	26
スケルチ感度	27
秘話コード選択	28
操作音	29
終話音	30
オートパワーオフ機能	31
中継器モード	32
送信出力	33
デュアルワッチ	34
エマージェンシー	35
エマージェンシーチャンネル	36
リセット	36
故障かな?と思ったら	37
仕様	38

# 安全上のご注意

## 表示について

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。

ご使用にあたり、次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 危険	人体が死亡もしくは重傷を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。
 警告	人体が死亡もしくは重傷を負いかねないことが生じることを想定される内容。
 注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

## 危険

- 本機の使用にあたり、単3型アルカリ乾電池または推奨するNi-MH充電電池以外は使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 火中に投入、分解、改造、はんだ付けは行わないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。

---

---

## 警告

- 運転中の使用は、絶対に行わないでください。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 本機は直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。
- ごく近くに人がいる場合、送信しないでください。
- 落下などにより、破損したり正しく動作していないときは、使用しないでください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただきました販売サイトまたは弊社までご連絡ください。
- 海外では使用できません。

## 注意

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- アンテナを誤って目に差したりしないよう注意して使用してください。
- 長期間使用しないときは、電池を外して保管してください。
- 本機の汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を使用し柔らかい布で軽くふき取ってください。シンナーやベンジンなどは使用しないでください。
- 本体裏に貼ってある技術基準適合ラベルを剥がさないでください。剥がした状態では、電波を出すことが出来ません。

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 安全についてのお願い・ご注意

---

本機を安全にご使用いただくには、正しい使い方と安全に関する注意事項をお守り頂くことが必要です。

### 電波法に関する注意

※ 下記の内容は電波法により禁止されています。

- ・本機裏面の技術適合証明ラベルをはがしての使用
- ・本機を分解、改造しての不正使用
- ・他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- ・航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

### 防水構造について

BC-27R の IP 規格は、MIC/SP ジャックのラバーキャップと電池の蓋をしっかりと閉めた状態で IP67\* になります。

\* IEC（国際電気標準会議）に基づく、粉塵や水の侵入に関する保護等級です。

粉塵の侵入が完全に防護されており、水面下 1m 以内で 30 分間浸かっても機器内部に水が浸入しない水準にあります。しかし激しい風雨や深い水没では浸水するおそれがありますのでご注意ください。

## ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機および 27ch 中継器対応機と通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーにグループモード機能が無い場合、本機のグループモードはオフにしてご使用ください。
- 中継器を使用しないで通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安としまして、見晴らしの良い郊外でおよそ1～2km、市街地でおよそ100～200mです。建物などの障害物により通話距離が大きく左右されます。
- 本機は防水防塵構造です（IP67 相当）が、特に海水などがついた時は、蛇口からの水を直接当てたり、高圧洗浄機・エアダスター等を使用せず、洗面器などに真水を入れてなるべく早く洗い流し、柔らかい乾いた布などで拭き取り、十分乾燥させてください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐ近くでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

## 特定小電力トランシーバーの規格による制限

- 通信時間制限について

特定小電力トランシーバーで連続的に交信する場合は、送信と受信の時間を合わせて、3分間で自動的に送信を停止し、受信状態になります。

3分間の通信時間制限機能により自動停止になったあとの2秒間は送信できません。2秒間経過後は、通常通り交信できます。

- キャリアセンスについて

無線機が通話状態に無い時に、他の無線機から信号を受信中に“PTT” ボタンを押しても、アラーム音が鳴り送信できません。通話状態にある時はこの限りではありません。

# 通信チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表（単信）

本機および多数の 20ch 機	11ch 機	9ch 機	他表示タイプの 20ch 機
ch1	ch1		ch1
ch2	ch2		ch2
ch3	ch3		ch3
ch4	ch4		ch4
ch5	ch5		ch5
ch6	ch6		ch6
ch7	ch7		ch7
ch8	ch8		ch8
ch9	ch9		ch9
ch10	ch10		ch10
ch11	ch11		ch11
ch12		ch1	ch h1
ch13		ch2	ch h2
ch14		ch3	ch h3
ch15		ch4	ch h4
ch16		ch5	ch h5
ch17		ch6	ch h6
ch18		ch7	ch h7
ch19		ch8	ch h8
ch20		ch9	ch h9

## 中継器チャンネル周波数表

本機チャンネル表示	送信 [MHz]	受信 [MHz]
01	440.0250	421.5750
02	440.0375	421.5875
03	440.0500	421.6000
04	440.0625	421.6125
05	440.0750	421.6250
06	440.0875	421.6375
07	440.1000	421.6500
08	440.1125	421.6625
09	440.1250	421.6750
10	440.1375	421.6875
11	440.1500	421.7000
12	440.1625	421.7125
13	440.1750	421.7250
14	440.1875	421.7375
15	440.2000	421.7500
16	440.2125	421.7625
17	440.2250	421.7750
18	440.2375	421.7875
19	440.2625	421.8125
20	440.2750	421.8250
21	440.2875	421.8375
22	440.3000	421.8500
23	440.3125	421.8625
24	440.3250	421.8750
25	440.3375	421.8875
26	440.3500	421.9000
27	440.3625	421.9125



# BC-27R の便利な機能

## ● 本体防水

IP67 相当の防塵防水構造です。雨の日に濡れても、高湿度の場所でも運用できます。

## ● グループモード

仲間以外の受信をシャットアウト

## ● ハンズフリー機能

PTT を押さなくても、マイクに向かって話すと自動送信されます

## ● トークビープ

会話の頭切れを防ぐために話を始めるタイミングをビープで知らせます

## ● セレクタブルスクランブラー

6 種類の秘話コードを選択することができます

## ● デュアルワッチ

2 つのチャンネルを交互に待受け可能

## ● セカンドトーク PTT

デュアルワッチ運用中はモニターキーをサブチャンネル用専用 PTT として使用できます

## 同梱品の確認

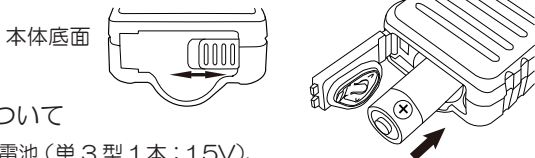
- 本体
- ベルトクリップ
- ストラップ
- 取扱説明書（保証書付き）



# ご使用前の準備

## 電池の入れ方

1. 底面電池カバーの爪をスライドさせて電池装着部を開けます。
2. 電池の端子が蓋のほうにくるよう電池を挿入します。
3. 電池カバーを閉めます。



### ■電池について

アルカリ乾電池（単 3 型 1 本：1.5V）、  
または推奨する Ni-MH 充電電池を必ずご使用ください。  
初めて本機を使用するときは、新品の乾電池を使用するか、  
Ni-MH 充電電池の場合は最初に充電をしてください。

使用時間……約 25 時間 [ アルカリ単 3 型乾電池 ]

約 33 時間 [ Ni-MH 充電電池 ( 2500mAh ) ]

測定条件：新品の状態（Ni-MH 充電電池は新品満充電の状態）で、低周波出力 100mW 時に送信 10 秒、受信 10 秒、待受は 80 秒の繰り返し動作

\* 使用を推奨する Ni-MH 充電電池の一例：F.R.C. FIRSTCOM [ FC-BT01 ]  
JAN コード：4515287025999

### ●電池残量表示

電池残量表示は 3 段階あり、残量の目安をあらわします。

満充電の時、残量バーが 3 個点灯します。残量バーが空になると、電池残量警告音が鳴るとともに「LoBA」が表示されます。この場合電源を切って電池を交換するか充電をしてください。

### ●電池残量の目安

3 目盛	2 目盛	1 目盛	0
75% 以上	50% 以上	25% 以上	5% 以下

## 電池に関する注意

- 電池の消耗を防ぐため、受信待受け状態が10秒間継続するとバッテリーセーブ機能が動作開始します。バッテリーセーブ中、受信立ち上がりおよびVOX送信立ち上がり等に通常より時間がかかる場合があります。
- 充電電池は充放電を繰り返すと、使用可能時間は徐々に短くなります。
- 長期間製品を使用しない場合、無線機から電池を取り出して保管をしてください。長期間保存後に使用する場合は再度新品の乾電池を使用するか、充電電池を充電してからご使用ください。
- 不要になった電池は電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 市販のNi-MH（エネルーブ等）を使用すると、電池残量警告が正しく表示されないことがあります。\*本機用充電器でエネルーブを充電しないで下さい。
- 乾電池を充電しないでください。発熱や破裂、液漏れの原因になります。
- 火の中に投げ込まないでください。
- ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。

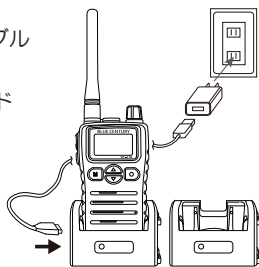
## 充電器（オプション：BCC-02D JANコード：4589997614064）による充電

1. ACアダプタをコンセントに差し込みます。
2. USBケーブルの一方をACアダプタのUSB端子に接続します。
3. 充電器スタンドの側面にUSBケーブルのmicroUSB端子を接続します。
4. 無線機の電源を切って充電器スタンドに差し込むと充電が開始されます。

\* 充電にはNi-MH充電電池が必要です。左のP.10にある情報を参照して下さい。

- 充電器スタンドのLEDの色は以下のようになります。

充電中：赤  
満充電：緑



連結して同時充電も可能です。

## ベルトクリップの取り付け方

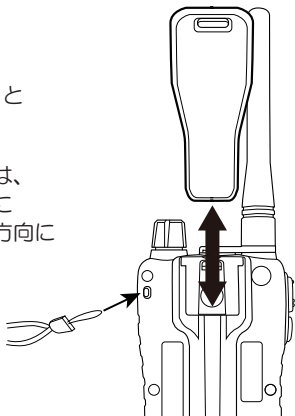
本体のガイドに合わせて

ベルトクリップを取り付けます。  
上部にスライドさせ、「カチッ」と音がしたらロックされています。

ベルトクリップを取り外す場合は、  
上部の爪をベルトクリップ方向に  
倒しながらベルトクリップを下方向に  
スライドさせます。

## ストラップの取り付け方

本体側面から裏面に通じる穴、  
またはベルトクリップ上部に  
ある穴にストラップを通し、通した紐の輪にストラップを通します。  
紐にストラップ全体を潜らせて引き絞ってください。



## イヤホンマイクの取り付け方

本体上部のイヤホンマイクカバーをめくり、イヤホンマイクを差しこんでください。

ご注意：イヤホンマイク使用中は VOX が機能しません。VOX 対応のイヤホンマイクを後日発売予定です。

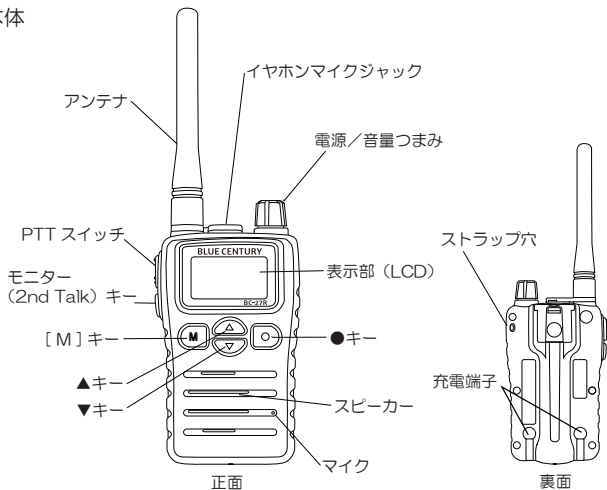
\*イヤホンマイクのケーブルを強く引っ張ったり、可動部分に過大な力で操作をしたりすると、断線や破損の恐れがあります。



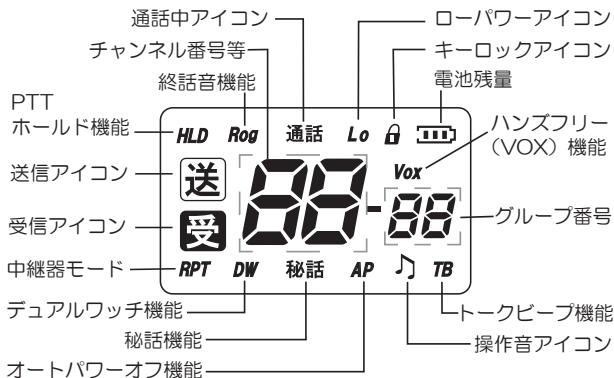
\*適応するイヤホンマイクについては P.38 をご覧ください。

# 各部の名称

## ■本体



## ■表示部



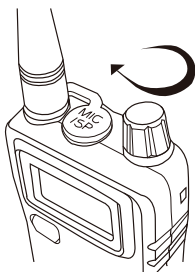
## 通話をする

### 電源を入れて通話をする（交互通話）

通話する相手のトランシーバーと同じチャンネルに合わせ、送信・受信を交互に切り替えながら通話します。まず、はじめに2台で通話テストを行ってください。

### 電源を入れてチャンネルを合わせる

- 電源スイッチ・音量つまみを右に回して電源を入れ、音量つまみを適度な位置に調整してください。
- ▲ / ▼キーを押して希望のチャンネルに合わせます。



### 送信する

- PTT スイッチを押して会話を開始します。

送信中は LCD 左に「送」マークが表示されます。



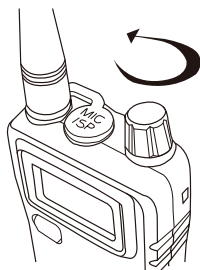
### 受信する

- PTT スイッチから手を離すと受信待受け状態になります。
- 信号を受信すると「受」が表示されます。
- 音量つまみを回して受信音量を調整してください。



## 電源を切る

- 電源を切るときは電源 / 音量つまみを反時計回りにカチッと音がするまで回して電源を切ります。



### 注意

- 初めて送信するとき、信号を受信中（[受] アイコンが点灯している間）に PTT スイッチを押して送信をしようとしても送信禁止音が鳴って送信ができません。
- 受信状態が終わってから（[受] アイコンが消灯してから）PTT スイッチを押して送信を開始してください。

## 待ち受け

待ち受け状態ではチャンネル表示になっています。  
この時に [ M ] キーを押すと下記 2 つの設定ができます。

- グループ設定
- 秘話 ON/OFF  
（あらかじめ拡張メニューで秘話コードの設定が必要です）

---

## グループ番号の設定

---

グループ番号を設定することで、同じチャンネル、同じグループからの信号のみを受信することができます。グループはチャンネル毎に設定できます。

1. ▲ / ▼キーでグループを設定するチャンネルを選択する
2. [ M ] キーを押してグループ表示を点滅させます（初期設定時は OF）
3. ▲ / ▼キーで Group を選択し [ M ] キーを押します
4. モニターキーまたは PTT を押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります

選択できるグループ番号

01 - 38

OF（グループを使用しないとき）



---

## 秘話の設定

---

秘話を設定することで、同じチャンネル、同じグループからの信号でも同じ秘話を使用していないと会話の内容が聞き取れません。秘話の ON/OFF はチャンネル毎に設定できます。

（秘話コードは拡張メニューで設定された秘話コードとなります。秘話コードは拡張メニューで変更できます）

1. [ M ] キーを押して秘話アイコンを点灯させます
2. ▲ / ▼キーで ON/OFF を選択し [ M ] キーを押します
3. モニターキーまたは PTT を押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります





### キーロック

待受け状態で [ M ] キーを長押しするとキーロックアイコンが点灯し、キーロックが有効となります。



キーがロックされているとき、[ M ] キー、▲ / ▼ キーがロックされて操作が出来なくなります。

PTT スイッチ、モニターキーはロックされません。

### スキャン (Scan)

▲ / ▼ キーを長押しするとチャンネルスキャンを開始し、現在使用中のチャンネルを探しはじめます。

スキャンの方向は▲ / ▼ キーで選択できます。

スキャン中に有効な信号を受信すると、そのチャンネルで一時停止します。



その際に PTT スイッチを押すとそのチャンネルで送受信ができます。

一時停止した後、送受信をしない時間が 5 秒経過するとスキャンが再開されます。

スキャンを停止するときは [ M ] キーを押してください。

---

## モニター (Monitor)

---

待受け状態で PTT スイッチの下にある  
モニターキーを押すと  
モニター状態となります。



受信信号強度が弱いときなど  
モニターキーを押すとスケルチが  
解除され、弱信号を受信することが  
できます。

スケルチはモニターキーを押している  
間のみ解除されます。

---

## 中継器を使用して通信を行う

---

中継器を使用することで、通話距離を大幅に広げることができます。予め中継機で使用するチャンネルとグループを選択しておきます。

中継機への対応は、「周波数表」(8 ページ)を参照してください。

### a. 送信操作 (呼び出し)

PTT スイッチを押して送信を開始し、押したまま中継器からの応答を待ちます。

中継機と正常に通信が確立されると、スピーカーから中継器接続音が「ピーピー」と鳴ります。その後 PTT スイッチを押したままの状態 で通信が開始されますので、通話を開始できます。

(呼び出しの後一旦 PTT スイッチを放しても中継器接続音の後に PTT スイッチを押して通話を開始できます)

通話が確立できない場合、PTT スイッチを押している間 送信禁止音が鳴ります。

### b. 受信と応答

待受け状態で信号を受信すると、スピーカーから相手の声が聞こえてきます。

応答する場合、中継器から送信が終わり受信待ち受け状態になってから 2 秒以内に送信を開始してください。会話が成立していない (通話に入っていない) 時、中継器が送信している間は応答は出来ません。

待ち受け状態になってから 2 秒以内に送信をした場合に、通話状態になります。通話待ち受け状態が 2 秒を超える場合、会話をする前に中継機への接続が再度必要になるため、「a. 送信操作」から行ってください。

## 拡張メニューモード

[ M ] キーを押しながら電源を入れると拡張メニューモードになり、各種機能の設定ができます。

拡張メニューモードでは [ M ] キーを押すと、現在の機能の設定値が決定され次の機能へ移動します。

設定がすべて完了したら、PTT またはモニターを押すと（またはそのまま 10 秒間操作をしないと）設定が保存され、拡張メニューモードを終了して待受け状態になります。

## 拡張メニューモード一覧

表示	機能	設定値	初期値
CA	呼出音	OF/01/02/03	OF
VOX	VOX 感度	OF/01/02/03	OF
VOX HLD	VOX 保持時間	01/02/03/04/05[ 秒 ]	15
Pt HLD	PTT ホールド	On/OF	OF
TB	トークビープ	On/OF	OF
Pt	送信許可	On/OF	On
SQ	スケルチ感度	OF/01/02/03	02
秘話	秘話選択	OF/01/02/03/04/05/06	01
♪	操作音	On/OF	On
Rog	終話音	On/OF	OF
AP	オートパワーオフ	OF/01/02/03/04/05/06 [時間]	03
RPT	中継器モード	On/OF	OF
Po	送信出力	Lo/Hi	Hi
DW	デュアルワッチ	OF/01 ~ 20	OF
SO	エマージェンシー	OF/S1/S2	S1
EC	エマージェンシーチャンネル	OF/01 ~ 20	OF

## 拡張メニューの詳細

### 呼出音（表示：CA）

[M] キーを長押しすると呼出音を約2秒間送信します。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [CA] アイコンが表示されていないときは  
[M] キーを押していき、  
[CA] アイコンを表示させます。



- 3 ▲/▼キーで[OF]または呼出音を選択して[M]キーを押します。
- 4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。

設定値 OF / 01 / 02 / 03 （初期値：OF）

呼出音を使用しない場合は [OF] を選択してください

## VOX（ハンズフリー）感度調整（表示：Vox）

VOX 機能を使用するとマイクに向かって話すだけで、自動的に送信することができます。話を止めると自動的に受信待受け状態になります。VOX 機能が有効になっている時、[Vox] アイコンが点灯します。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [Vox] アイコンが表示されていないときは [M] キーを押していき [Vox] アイコンを表示させます。
- 3 ▲ / ▼ キーで VOX 感度を選択して [M] キーを押します。
- 4 PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。



**設定値：OF / 1 / 2 / 3** （初期値：OF）

数字が大きいほど感度が高くなり、より送信しやすくなります。  
VOX 機能を使用しないときは [OF] を選択します。

### 注意：

VOX 機能は [ 受信中 ] [ 確認音が鳴っている時 ] [ コールトーンが鳴っている時 ] [ スケルチ OFF の時 ] [ 各機能設定中 ] は動作しません。また、VOX 非対応のイヤホンマイク使用時も動作しません。

### ヒント！

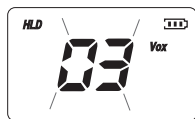
VOX 機能とトークビーブ [ TB ] を組み合わせて使うと、話を開始するタイミングが音でわかるので、VOX の機能をさらに便利に使うことができます。

## VOX 保持時間（表示：Vox HLD）

VOX 動作で送信が開始されたとき、音声がなくなってから送信を保持する時間（受信待受けに戻るまでの時間）を設定できます。

1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。

2 [Vox] アイコンと [HLD] が表示されていないときは [M] キーを押していき、[Vox] アイコンと [HLD] を表示させます。



3 ▲ / ▼ キーで希望する保持時間を選択して [M] キーを押します。

4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。

設定値：01 / 02 / 03 / 04 / 05 [秒]（初期値：03）

---

## PTT ホールド（表示：Pt HLD）

---

PTT ホールド機能を [On] に設定すると、PTT スイッチを押して送信する時、PTT スイッチを放しても送信を継続することができます。無線機が送信中に再度 PTT スイッチを押す（短押し）と送信が終了し受信待受け状態になります。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 Pt 表示と [HLD] アイコンが表示されていないときは [M] キーを押していき、Pt と [HLD] アイコンを表示させます。
- 3 ▲ / ▼ キーで [On] または [OF] を選択して [M] キーを押します。
- 4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。



設定値：On / OF



## トークビーブ (表示: TB)

PTT を押した直後に話を始めると会話の冒頭が切れてしまうことがあります。トークビーブ機能を有効にすると PTT を押した後にビーブが鳴ります。このビーブ音の後に話を始めることで会話の頭切れを減らすことができます。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [TB] アイコンが表示されていないときは [M] キーを押していき、  
[TB] アイコンを表示させます。
- 3 ▲ / ▼ キーで [On] または [OF] を選択して [M] キーを押します。
- 4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります



設定値: On / OF

### ヒント!

VOX 機能を使用していると、送信側 (VOX 使用側) ではいつ送信になるかわからないため、自分の無線機が送信になっていないのに会話を始めたりします。

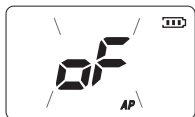
このため相手には会話の冒頭が届かないことがよく起こります。

このような場合にトークビーブ機能を使うことで、会話の頭切れを大幅に減少できます。

## 送信許可（表示：Pt）

無線機を受信専用機として使用する場合、PTT を押ししても送信しないように設定することができます。

1. [ M ] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
2. [ Pt ] が表示されていないときは  
[ M ] キーを押していき、  
[ Pt ] を表示させます。
3. ▲ / ▼ キーで [ On ] または  
[ OF ] を選択して [ M ] キーを押します。
4. PTT スイッチを押すと待ち受け画面(チャンネル表示)へ戻ります。



### 設定値：

On	PTT 有効：送信可能（初期値）
OF	PTT 無効：送信不可

## スケルチ感度（表示：Sq）

ここではノイズスケルチ（雑音をカットする受信レベル）の設定を行います。スケルチ設定の値を下げるとより弱い信号でも受信しますが、より雑音が多くなります。

スケルチ設定の値を大きな値にすると、雑音の少ない音になりますが、より強い信号を受信しないと音が鳴りません。

0 に設定すると常に受信状態となり、信号を受信していない状態でも雑音が聞こえます。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [Sq] が表示されていないときは  
[M] キーを押していき、  
[Sq] を表示させます。
- 3 ▲ / ▼ キーで [Sq] の設定値  
または [OF] を選択して  
[M] キーを押します。
- 4 モニターキーまたは PTT スイッチを押すと  
待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。



設定値：

OF	スケルチオフ
1 ~ 3	値が小さいほど弱い信号で音が鳴りやすい（初期値：2）

## 秘話コード選択（表示：秘話）

本機では秘話コードを6つのコードから選択できます。

- 1 [M]キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [秘話]アイコンが表示されていないときは[M]キーを押していき、[秘話]アイコンを表示させます。
- 3 ▲ / ▼キーで[OF]または秘話コード(01～06)を選択して[M]キーを押します。
- 4 モニターキーまたはPTTスイッチを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。



設定値：01 / 02 / 03 / 04 / 05 / 06 （初期値：01）

### 注意：

秘話での通話を有効にするには、通常モードで[M]キーを押し、秘話をONにします。

## 操作音（表示：♪）

キー操作をしたときにピープを鳴らすか鳴らさないかの設定ができます。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [♪] アイコンが表示されていないときは [M] キーを押していき、[♪] アイコンを表示させます。
- 3 ▲ / ▼ キーで [On] または [OF] を選択して [M] キーを押します。
- 4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります。



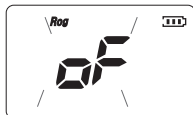
### 設定値：

On	操作音あり（初期値）
OF	操作音なし

## 終話音（表示：Rog）

送信を終了するとき音を送って、送信の終了を相手に知らせます。

1. [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
2. [Rog] アイコンが表示されていないときは [M] キーを押していき、[Rog] アイコンを表示させます。
3. ▲ / ▼ キーで [On] または [OF] を選択して [M] キーを押します。
4. PTTスイッチを押すと待ち受け画面(チャンネル表示)へ戻ります。



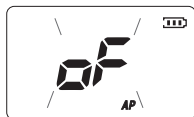
### 設定値：

On	終話音あり
OF	終話音なし（初期値）

## オートパワーオフ機能（表示：AP）

一定時間操作がない場合、自動的に電源が切れます。  
電源の切り忘れを防止する機能です。

1. [ M ] キーを押しながら電源を入れて  
拡張メニューに入ります
2. AP アイコンが表示されていない時は  
[ M ] キーを押して AP アイコンを  
表示させます
3. ▲ / ▼ キーでオートパワーオフの時間（01 ～ 06 時間）  
または OF を選択して [ M ] キーを押します
4. モニターキーまたは PTT キーを押すと待ち受け画面  
（チャンネル表示）へ戻ります



設定値：

OF	オートパワーオフなし
01 ～ 06	時間

注意：オートパワーオフで電源が切れた後に再度電源を入れる  
場合、つまみをいったん電源オフの位置にしてください。

## 中継器モード（表示：RPT）

中継器を使用する場合、無線機が中継器チャンネルを使用できるように中継器モードをONにします。中継器モードがONになると、待受け状態では常に中継器チャンネルが表示されます。

中継器を使用しないときは中継器モードの設定をOFにしてください。

- 1 [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
- 2 [RPT] アイコンが表示されていないときはOK キーを押していき、[RPT] アイコンを表示します。
- 3 ▲ / ▼ キーで [On] または [OF] を選択し、[M] キーを押して確定します。
- 4 PTT スイッチを押すと待ち受け画面(チャンネル表示)へ戻ります。



### 設定値：

On	中継器を使用 [半複信]
OF	中継器を使用しない [複信] (初期値)

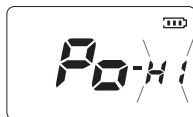


## 送信出力（表示：Po）

※ 送信出力は中継器モード (RPT) が ON の時のみ設定できます。

特定小電力無線機の規定では通常3分間以上の連続送信、連続通話をする事ができませんが、中継器モード (Ch1 ~ Ch18) で送信出力を 1mW に変更することで連続送信、連続通話時間の制限がなくなります。(中継器、子機ともに 1mW に設定する必要があります)

1. [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります。
2. [Po] が表示されていないときは  
[M] キーを押していき、  
[Po] を表示させます。
3. ▲ / ▼ キーで [Hi] または [Lo] を  
選択して [M] キーを押します。
4. モニターキーまたは PTT スイッチを  
押すと待ち受け画面 (チャンネル表示) へ戻ります。



設定値：

Hi	10mW
Lo	1 mW

中継器モードのチャンネルで Lo 出力になるのは Ch1 ~ Ch18 のみとなります。

Ch19 ~ Ch27 の送信出力は常に 10mW となります。

## デュアルワッチ（表示：DW）

デュアルワッチは、メインチャンネルとサブチャンネルの2チャンネルで待受けや運用をしたいときに使用します。

メインまたはサブチャンネルのどちらかの信号を受信したとき、そのチャンネルで通話ができます。通話終了後は再びデュアルワッチを開始します。

また、デュアルワッチ中にメインチャンネルで送信をしたい場合、PTT を押すとメインチャンネルで送信し、MONI ボタンを押すとサブチャンネルで送信を開始します。デュアルワッチ中はMONI キーをセカンドトークPTTとして使用できます。

1. [ M ] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります
2. [ DW ] アイコンが表示されていないときは [ M ] キーを押して [ DW ] アイコンを表示させます
3. ▲ / ▼ キーでサブチャンネルを選択して [ M ] キーを押します
4. モニターキーまたはPTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻り、デュアルワッチが開始されます



注意：デュアルワッチは中継器モードでは使用できません。

## エマージェンシー（表示：SO）

緊急事態を相手に知らせるときにエマージェンシーモードを使用します。

●キーを3秒以上長押しするとエマージェンシーモードが起動します。

エマージェンシーモードに入ると無線機は自動的にアラームの送信を定期的に繰り返します。

再度●キーを長押しするとエマージェンシーモードは終了します。

1. [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります
2. So が表示されていないときは [M] キーを押して So を表示させます
3. ▲ / ▼ キーで S1 または S2 を選択して [M] キーを押すとエマージェンシーが設定されます（エマージェンシーを使用しない時は OF を選択してください）
4. モニターキーまたは PTT キーを押すと待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります



### 設定値：

S1：「アラームを5秒間送信後20秒間マイクからの音声を送信し、30秒間受信」の繰り返し

S2：「アラームを5秒間送信後5秒間受信」の繰り返し

OF：エマージェンシーモードを使用しない

---

## エマージェンシーチャンネル（表示：EC）

---

エマージェンシーモードを実行するチャンネルをあらかじめ指定することができます。

1. [M] キーを押しながら電源を入れて拡張メニューに入ります
2. EC が表示されていないときは [M] キーを押して EC を表示させます
3. ▲ / ▼ キーで OF またはチャンネルを選択して [M] キーを押すとエマージェンシーチャンネルが設定されます  
（現在のチャンネルを使用するときは OF を選択してください）
4. モニターキーまたは PTT キーを押すと、待ち受け画面（チャンネル表示）へ戻ります



### 設定値：

- 01 ~ 20：指定されたチャンネルでエマージェンシーモードを実行  
OF：使用中のチャンネルでエマージェンシーを実行

---

## リセット

---

リセットをすると、機能設定などはすべて初期値（工場出荷状態）に戻ります。

1. 電源を切ります。
2. PTT と ● キーを押しながら電源を入れてください。
3. リセットが終了すると設定がすべて初期状態に戻り、Ch1 を表示します。



## 故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池の向きが違う</li> <li>電池が消耗している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池を正しい方向に入れる</li> <li>新しい電池に交換する</li> </ul>
受信できない 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTTが押されている</li> <li>グループ番号が異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTTを放す</li> <li>相手と同じグループ番号にする</li> </ul>
相手と通話できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャンネルまたはグループ番号が違う</li> <li>相手との距離が離れすぎている</li> <li>通話モードが異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手と同じチャンネル、グループ番号に合わせる</li> <li>通話のできる距離まで近づく</li> <li>相手と同じ通話モードにする</li> </ul>
キーを押しても表示が変わらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーロック状態になっている</li> <li>その他の異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーロックを解除する</li> <li>リセットをする</li> </ul>
表示がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池が消耗している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電池を交換、または充電をする</li> </ul>
勝手に送信される	<ul style="list-style-type: none"> <li>VOX機能がオンになっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VOX機能をオフにする</li> </ul>
中継器を使用した通話が出来ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>中継器モードになっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中継器モードに設定する（19ページ参照）</li> </ul>
音声聞き取れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信側または受信側、いずれか一方に秘話機能を設定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送信側 / 受信側共に同じ設定にする（28ページ参照）</li> </ul>

それでも動作しない場合は・・・

下記 Blue Century 公式サイトの [ お問い合わせフォーム ] より、購入時の「ご注文番号」などの必要事項をご記入いただきご連絡くださいませ。

その後、弊社スタッフより折り返しご連絡差し上げます。

<https://blue-century.com/guide/ask/>

その他、メールでもお問い合わせが可能です。

[info@blue-century.com](mailto:info@blue-century.com)



## 仕様

送受信周波数.....	422.050 ~ 422.300 MHz (単信 20 波) 421.5750 ~ 421.9125 MHz (半複信受信 27 波) 422.0250 ~ 440.3625 MHz (半複信受信 27 波)
電波形式.....	F3E, F2D
送信出力.....	10mW、1mW
受信感度.....	-8dBuV 以下 (12dB SINAD)
低周波出力.....	40mW 以上 (@ 8Ω、10% 歪)
電源電圧.....	DC1.5V (アルカリ単3型乾電池 または Ni-MH 電池パック 1 本使用)
使用時間.....	約 25 時間 [ アルカリ単 3 型乾電池 ] 約 33 時間 [ Ni-MH 充電電池 ( 2500mAh ) ]
測定条件：新品の状態 ( Ni-MH 充電電池は新品満充電の状態 ) で、低周波出力 20mW 時に送信 10 秒、受信 10 秒、待受は 80 秒の繰り返し動作	
動作温度範囲.....	-10℃ ~ +50℃
寸法.....	約 78 (高さ) × 48 (幅) × 22 (奥行) mm (突起部除く)
重量.....	約 103g (電池込み)
付属品.....	ベルトクリップ、ストラップ 取扱説明書 (保証書)

### ■ Blue Century 純正オプション品

充電器セット (型番: BCC-02D・近日発売予定 \* 充電電池は付属しません)

VOX 対応イヤホンマイク (型番未定・近日発売予定)

インナー型イヤホンマイク : W022

耳かけ型イヤホンマイク : W023

カナル型イヤホンマイク : W019H

2WAY 耳かけ型イヤホンマイク : W005

\* 使用を推奨する Ni-MH 充電電池の一例 : F.R.C. [ FC-BT01 ] JAN : 4515287025999

## 保証規定（本体のみ）

本取扱説明書に保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、ご購入サイト名」等を記入、ご確認の上、納品書等の購入記録と共に保管してください。

- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。（付属品に関しては初期不良のみ交換対応）
- 修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」（P37）を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、下記販売元にご連絡ください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが消去される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては、弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書をご提示いただき、保証期間内であれば修理にて対応させていただきます。その際、製品を弊社宛に送付していただくセンドバック方式となります。
- 出張修理は行っていません。
- 保証期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理致します。その際は、下記販売元へ連絡願います。送料はお客様のご負担となりますのでご了承ください。

## 無料保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書、添付ラベル等の注意書きに従って正常に使用し故障した場合、無償修理させていただきます。
2. 次の場合には、保証期間でも有料修理となります。
  - (イ) 保証書の提示がない場合。もしくは、お客様、販売店名、お買い上げ年月日の記入がない、もしくは字句を書き換えた場合。
  - (ロ) 使用上の誤りや、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因で生じた故障及び損害。
  - (ハ) 故障の原因が本機以外の製品にある場合。
  - (ニ) 落下、冠水などによる故障及び損害。
  - (ホ) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障及び損害。
  - (ヘ) 製造番号の変更もしくは取り外した製品。
  - (ト) 消耗部品（ベルトクリップ等）

保証は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

\* この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売元までお問い合わせください。

# 保証書

保証期間中は正常な使用状態で故障した場合、保証書の規定により無償修理させていただきます。

- 修理は Blue Century 公式サイト [ お問い合わせフォーム ] より、購入時の「ご注文番号」などの必要事項をご記入いただきご連絡ください。その後、弊社スタッフより折り返しご連絡差し上げます。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ご購入後 1 ヶ月までの初期不良については送料弊社負担いたしますので着払いをご利用いただけます。それ以降につきましてはお客様の送料負担となりますのでご了承ください。

尚、付属品に関しては、保証期間はご購入後 1 ヶ月となります。(初期不良・及び正常な状態での使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合)

お客様へのお願い

修理の際はお手数ですがご購入日時、ご住所、お名前、電話番号等が記載された購入履歴（または販売証明）を添付してください。

商品名	特定小電カトランシーバー BC-27R		
保証期間	1年間	ご購入年月日	年 月 日
お客様	ご住所		
	TEL		
	お名前		
ご購入サイト等			

## 株式会社 コンパス

その他のお問い合わせはこちらまで。

info@blue-century.com

Blue Century 公式サイト

<https://blue-century.com/>

Printed in China



▲お問い合わせ  
フォームをご利用  
下さい。